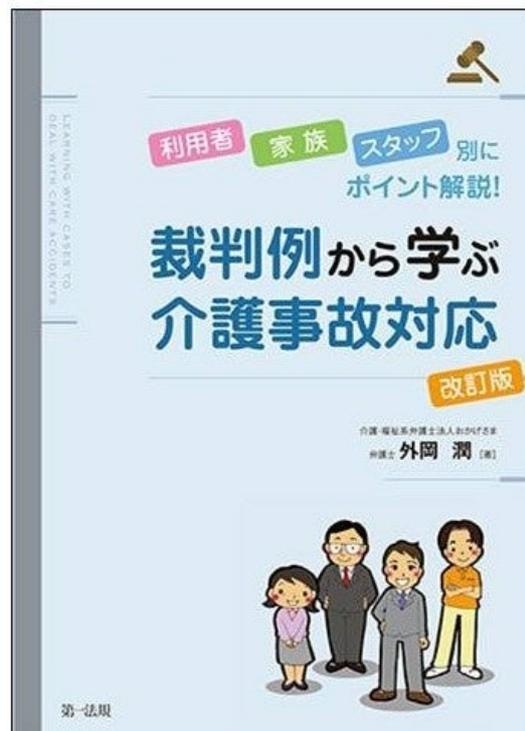


【新刊書籍】『利用者・家族・スタッフ別にポイント解説！裁判例から学ぶ介護事故対応 改訂版』発刊！

介護現場に“自信と安心”を与える介護事故対応の指南書。待望の改訂版！

法律関連出版物、各種データベースを提供する第一法規株式会社（所在地：東京都港区、代表取締役社長：田中英弥）は『利用者・家族・スタッフ別にポイント解説！裁判例から学ぶ介護事故対応 改訂版』を2024年3月22日に発刊いたしました。



人員不足で余裕のない現場…

どんなに注意していても、事故は起こってしまう…

「実際に事故が起きてしまったらどうしたら良いか」に焦点を当てた介護事故対応の指南書、待望の改訂版！

事業所やスタッフを守るため、実際の裁判例を参考に、リスクマネジメントの「先手」を打つ！

★商品の詳細、購入はこちら！（第一法規ストアサイト）★

https://www.daiichihoki.co.jp/store/products/detail/104859.html?utm_source=prtimes

・Amazonでの購入はこちら！

<https://amzn.asia/d/4ZITrjj>

・楽天での購入はこちら！

<https://books.rakuten.co.jp/rb/17771403/?l-id=search-c-item-text-01>

・紀伊国屋WEB STOREからの購入はこちら！

● 【改訂POINT】

①介護現場でよく起きる転倒事故・誤嚥事故の裁判例と、安全対策体制構築の取り組みに関するコラムを追加！

②近年増えているケースや制度改正を踏まえて、解説内容をアップデート！

● 【本書のPOINT】

①実際の裁判例を参考に、気をつけるべきポイントがわかる！

裁判例をマンガや会話形式で解説しているので、理解しやすく、参考になる！



②対応相手別のワンポイントアドバイスが役に立つ！

スタッフにどう声をかければいいのか、管理者・事業所としてどう動けばいいかをわかりやすく解説！

④ 対応相手別！ワンポイントアドバイス

(1) 事故現場に居合わせた職員に対して



●誤嚥の典型的症状を学び、ご利用者を観察する

ご利用者が食事中に急変したからといって、安易に誤嚥と決めつけてはいけません。むせやチアノーゼなどの典型症状が見られるかを冷静に観察し、他職員と共有しましょう。

(2) 現場の管理者（上長）の対応として



●搬送直後から現場の保存と記録を徹底する

誤嚥事故は時間との勝負であり、異変直後から怒涛のようにとるべき措置を講じていく必要があります。一通り終わっても油断せず、ご利用者の口から採取された食物残渣物を捨てずに保存したり、写真撮影する等して証拠化しておきましょう。関係した職員全員にヒアリングを行い、どのようなことが起きたかを確認していきます。

(3) 事業所全体として



●誤嚥対応マニュアルの見直しを

ほとんどの施設では既に誤嚥事故の対応マニュアルを備えていると思いますが、「そもそも誤嚥か否か」という入口の段階での判別について意識的に記述されているかをチェックしましょう。長野県の刑事事件の二の舞にならないよう、「最初が肝心である」という意識を持つことが重要です。

③事故報告で重要な「記録の残し方」がわかる！

Not Goodな記載例とGoodな記載例を見比べて、正しい書き方を身につけられる！

	第3章 実践
<p>(Not Good な記録例)</p> <p>●午前中 居室で尻もちをついて座り込んでいるところを発見。痛みの訴えはなく、歩行される。バイタルチェックするも異常なし。様子見とする。</p> <p>↓</p> <p>●お昼 食欲なく、3割摂取。ぼーっとされており、問いかけにも反応なし。</p> <p>↓</p> <p>●午後 発熱、振戦（ふるえ）見られる。血中酸素濃度低下。「足が痛い」と言うのでボディチェックしたところ右足の付け根部分を痛がるため、救急搬送。</p> <p>↓</p> <p>搬送先病院で右大腿頸部骨折が判明。</p> <p>上記記録を見た家族としては、こう思うことでしょう。 「なぜ最初の発見段階で骨折を疑わなかったのか。何時間もケガをそのまま放置されて、母（利用者）はさぞ痛かったことだろう。漫然と大丈夫と判断した結果、骨折もよりひどくなったのではないか」 法的にも、このようにケガの発見が遅れることは損害賠償相当であると評価される可能性があり、実際にデイサービスの送り時に転倒させ、別施設に搬送し翌朝骨折が判明したケースで、直ちに医療搬送しなかった過失につき20万円の慰謝料が命じられた裁判例もあります（平成25年5月20日/東京地裁判決/平成23年（ワ）第33164号）。</p> <p>現場の心情としては、決して搬送を怠っていたということはないものと思いますが、このようにバイタルが安定していることや、歩行す</p>	<p>る様子を見て「問題なし」と軽々に判断してしまう現場職員が意外にも多いようです。そもそも認知症の利用者は、痛みを正確に感じたり、訴えることができないことが多いのですが、その点を誤解している人もいるかもしれません。</p> <p>逆に、最初に発見した職員が「心配性」であれば、事態はどうなっていたでしょうか。「もしかしたら骨折しているかもしれない」と思い、その場で看護師を呼び入念な確認をしていたことでしょうか。それでもなお異常が認められなければ、その通り報告すれば家族側も「発見が遅れたのは仕方なかった」と納得してもらいやすくなります。</p> <p>そのためにも、実際にバイタル測定やボディチェック等をしたのであれば、具体的に何をされたのかを入念に記録していくことが重要です。次のような書き方が考えられます。</p> <p>(Good な記録例)</p> <p>午前10時15分頃、ドスンと音がしたので居室に向かうと、ベッド脇でご利用者が尻もちをついて座り込んでいるところを発見。 「大丈夫ですか」と声掛けしたところ、「トイレに行こうとして転んでしまった」と答えられる。 「お尻を打ちましたか。痛いところはないですか」と問いかけると、「大丈夫。どこも痛くない」と言われ、ご自分で立ち上がりうとされたので介助しベッドに腰掛けて頂く。 表情を観察したが顔をしめめる等の異変は見られず、顔色も通常。汗もかかれていない。 上半身から下駄まで着衣の上から両手で触れ、痛みがないかお尋ねするも、「どこも痛くない」と繰り返される。 念のため看護師を呼びA看護師と共にズボンを脱がせ体表も目視確認したが、股関節をはじめ下駄部分には内出血や傷、変形等</p>

●【目次】

改訂版発行にあたって
はじめに

第1章 導入 ～事例から介護事故後の対応方法を考える～

1. 介護事故とは
2. 介護事故後の対応方法と改善点
 - (1) 事故後の心構え
 - (2) 事故後対応の流れー裁判とはー
 - (3) 今回のケースの反省点

第2章 総論

1. まず押さえるべき、事故・トラブル対応3つのルール
 - (1) 先手
 - (2) 受容と共鳴
 - (3) 公平・公正
2. 謝罪の方法
 - (1) 原則として「謝罪する」
 - (2) 「人として」率直に謝罪する

第3章 実践

1. 事故予防のポイント
 - (1) 契約書とその説明方法
 - (2) 通常サービス提供時の注意点
 - (3) 業態別、事故・トラブルの予防ポイント
2. 事故対応のポイント
 - (1) 事故が起きたときの初期反応
 - (2) 事故後の家族対応
 - (3) 職員への対応方法

第4章 裁判例

1. 転倒・転落
 - 裁判例1 訪問介護中の転倒事故
 - 裁判例2 介護老人保健施設での認知症利用者の転落事故
 - 裁判例3 有料老人ホームでの転倒事故
 - 裁判例4 ショートステイでの転倒事故
 - 裁判例5 デイサービス送迎時の転倒事故

コラム 安全対策体制構築の取り組み
2. 誤嚥・誤飲
 - 裁判例6 ショートステイ利用中の誤嚥事故
 - 裁判例7 グループホームでの誤嚥事故
 - 裁判例8 介護老人保健施設での窒息疑い事故
3. 離設・徘徊
 - 裁判例9 デイサービスの認知症利用者の離設死亡事故
4. 投薬ミス
 - 裁判例10 介護老人保健施設における医師の投薬ミス
5. 障害者施設における事故・トラブル裁判例
 - 裁判例11 自立ホームにおける障害者押さえつけによる死亡事

コラム 利用者による暴力から現場職員を守る「収め護身術」

エピローグ

おわりに

著者プロフィール

★商品の詳細、購入はこちら！（第一法規ストアサイト）★

https://www.daiichihoki.co.jp/store/products/detail/104859.html?utm_source=prtimes

・ Amazonでの購入はこちら！

<https://amzn.asia/d/4ZITrjj>

・ 楽天での購入はこちら！

<https://books.rakuten.co.jp/rb/17771403/?l-id=search-c-item-text-01>

・ 紀伊国屋WEB STOREからの購入はこちら！

<https://www.kinokuniya.co.jp/f/dsg-01-9784474094871>

• 【商品概要】

『利用者・家族・スタッフ別にポイント解説！裁判例から学ぶ介護事故対応 改訂版』

著者：外岡 潤

定価：2,530円（本体2,300円＋税10%）

仕様：A5判・280頁

発売元：第一法規株式会社

当プレスリリースURL

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000690.000059164.html>

第一法規株式会社のプレスリリース一覧

https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/59164

【本件に関するお問合せ】

第一法規株式会社 販売促進第三部

TEL：03-3796-5474

MAIL：welfare_support@daiichihoki.com

